



2020年2月12日

各 位

会 社 名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 代表者名 代表取締役会長 西川 浩司
 (コード：5742、東証JASDAQスタンダード)
 問合せ先 執行役員管理部長 藤井 透
 (TEL. 076-425-0738)

2020年3月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年2月12日開催の取締役会において、2019年5月10日付の「2019年3月期決算短信(連結)」にて公表しました2020年3月期(2019年4月1日~2020年3月31日)における連結業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2020年3月期 連結業績予想数値の修正(2019年4月1日~2020年3月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,050	771	771	507	93.05
今回修正予想(B)	6,960	142	145	74	13.64
増減額(B-A)	2,090	629	626	433	
増減率(%)	23.1%	81.5%	81.2	85.4%	
(ご参考)前期連結実績 (2019年3月期)	8,715	738	746	492	90.36

(2) 修正の理由

わが国の製造業においては、2020年3月期上半期は全般的に低調に推移し、下半期より復調することが見込まれておりましたが、このような一般的な予想に反し、下半期も更に低調な景況で推移しております。このように、今期は引き続き製造業全般が低調に推移することが予測されることより、売上高は当初予想を下回る見通しであります。

このような状況のもと、当社は、東海地区におけるアルファフレームシステムやFA(Factory Automation/自動化・省力化)装置等のニーズに迅速にお応えできる体制の整備・強化を目的として、2019年10月より愛知事業所(愛知県清須市)の稼働を開始いたしました。当事業所の生産ラインには最新鋭のICT(情報通信技術)を導入し、省人化による生産性向上やリードタイム短縮といった大幅な改善を図り、新たな基幹工場としての役割を果たしております。さらにアルファフレーム部門においては、来期早々から納入開始となる新規案件に備えて既存設備の整備に注力するとともに、業容拡大に向けての設備投資も積極的に実施しております。

以上より、利益面につきましては、売上高の減少に加え、新工場の取得及び新規設備の導入、既存設備の改良・更新等に対する投資及び社員の増員等によって、一時的に損益分岐点比率が高まり、低水準となる見通しであります。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

以上